



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 Vol.3 令和6年8月27日

7月30日（火）、2年生の医療専攻生が「サマーセミナー2024 in KOIDE」（於 魚沼市立小出病院）に参加してきました。これは医療人をを目指す学生向けに実施されているもので、例年、他校生や大学生に混じって小出高生も参加させていただいています。院長先生をはじめとして、多くの小出病院の医療従事者の方々が、貴重な時間を割いて見学や実習、グループワークを実施してくださいました。生徒にとって、貴重な得がたい経験であり、医療人になりたいという思いを強くしていたようです。体験内容や生徒の感想などを紹介します。

【サマーセミナー2024 in KOIDE プログラム】

- ・院内見学
- ・なりきり実習：希望した職種に分かれて、職場体験させていただきました。
- ・なりきり講義：グループに分かれて、さまざまな医療職の方から仕事内容についてお話をいただきました。
- ・講義：地域医療連携室の看護師の方から、「患者を支えるチーム医療」について講義していただきました。
- ・グループワーク：モデルケースをもとに、在宅の患者さんやご家族をどのように支援すればよいのかを、グループに分かれて話し合い、発表しました。
- ・講話：魚沼市出身の医師の方から、医療者に求められることや他職種との連携の大切さについてお話いただき、医療職を目指す地元後輩にむけてのメッセージをいただきました。

◆院内見学



◆なりきり実習



◆なりきり講義



◆講義「患者を支えるチーム医療」



◆グループワーク



◆魚沼市出身の医師からの講話



【生徒の感想】

- ・今回のサマーセミナーを通して、通常では体験することのできないことをたくさん経験させていただきました。看護師の方のお仕事を見学させていただいて、患者さんを第一に考えた治療や日常生活のサポートに感銘を受けました。目の前の患者さんだけでなく、患者さんの周りの生活まで考えられる人になりたいと思いました。
- ・いい経験、体験ができて、前より医療の道に進む気持ちが強まった。今後は大学進学を考えているので勉強を頑張りたいと思った。
- ・今回のサマーセミナーで、今までぼんやりとしか分らなかった業務内容を知ることができました。そして、これからの大学進学で気がかりだったことも実際に経験した人からアドバイスをもらったのでとても安心しました。有意義な時間でした。
- ・今回のセミナーで、医療人の役割というものが明確に分かりました。とても貴重な体験になりました。
- ・実際にリハビリで患者さんと関わることができたのでよい経験になりました。サマーセミナーを受けて、前よりもリハビリ系の職業に就きたいという思いが強くなりました。
- ・関わった方の中に小出高校の卒業生がいらしゃったので、質問しやすく、医療について詳しく知ることができた。また、なりきり実習で看護師の仕事を近くで見たことで、患者との対話がいかに大切かということをおぼろげに感じた。

